

サブスク時代と図書館

学長 松尾 太加志 (Matsuo Takashi)

本を買いたい。でも、本棚がいっぱいで置くところがない。その救世主が電子書籍だった。何冊買っても置き場所を考えなくてよい。スマホがあれば、いつでもどこでも読める。空いた時間、あの本を持ってくれば本を読めたのと思ったのは一度や二度ではない。でも、もうそんな後悔をしなくてよい。私のスマホには何十冊という本が入っているのだから。電子化というのは便利なものだ。

その最たるものがサブスクリプションだろう。電子化されているからこそ、定額で読み放題のサービスが提供できる。音楽や映画の世界では当たり前になっているサブスクが、雑誌はもちろんのこと、本の世界もそうなりつつある。

サブスクの魔の手はレコメンド機能にある。閲覧履歴から、お薦めの音楽、映画、書籍を紹介してくれる。サブスクだったら、新たな料金は発生しないから躊躇することはない。そうすると、その閲覧履歴がまた新たなレコメンドをしてくる。エンドレスだ。定額でいろいろな音楽を聴いて、映画を見て、本を読んで、豊かな経験ができていく。なんて素晴らしいことだと思ってしまう。

でも、ふと考えると、アルゴリズムに操られているだけではないかとも思う。閲覧の相関が高いものをレコメンドしているだけ。それも自分の閲覧履歴に誘導されている。自分の人生の道筋が閲覧履歴で作られているのかもしれない。

ただ、実際には私たちの人生は過去の経験の上で成り立っている。私たちの意思決定や判断は、これまでの経験に支配されている。そう考えると、機械からのレコメンドも悪いものではない。実際にレコメンドされたものに有用なものは少なくない。いや、そう思い

込まされているだけだという囁きも聞こえてきそうだが、やっぱり便利だと思ってしまう。

ひょっとすると、自分で意思決定を下すよりも、自分の過去の経験をすべてコンピュータに教えてアルゴリズムで決めてくれたほうが最良の決断になるかもしれない。

ただ、自分の閲覧履歴に縛られてしまう人生なんてあまりうれしくない。すべての閲覧履歴をリセットして、コールドスタートできれば、新たな人生を歩むことになるかもしれない。そんな心配をするよりもレコメンドに頼らなければよいだけだ。

図書館、それは究極のサブスクでもある。何十万冊という本が読み放題なのだから。違うのはレコメンドがないこと。自分で好きに本を探せるし、図書館の司書や教員が本を推奨してくれる。そこには本との出会いがある。ネットで買うよりも、リアルな店舗で販売員のアドバイスを受けて買ったほうがいいものはたくさんある。洋服や靴だったら試着もしたい。本もそうである。

サブスクのレコメンドはあなただけにという特別感を感じることもあるが、所詮アルゴリズムが決めていることで、あなたという人物に対する推奨ではない。あなたの閲覧のデータに対する推奨である。

図書館の司書や教員はあなたという人物に対して本を推奨してくれる。図書館での推薦図書コーナーや時々の企画もあなたを待っている。それが本との出会いにつながる。サブスクでは得られない本との出会いを図書館で体験してほしい。



図書館ツアー-mini開催

春と夏に職員が実際に館内を案内する図書館ツアーを開催しました！

感染拡大を防止するため受付人数を少人数とさせていただきましたが、一人一人に合わせた案内をすることができました。

春は入学式の日を含め開催し、多くの新入生や学生が参加してくれました。ソーシャルディスタンスを保ちつつ真剣に聞く姿に職員もつい熱心に案内してしまいました！



図書館ツアー-on the WEB新設

ネットワーク環境があれば【いつでも・どこでも・誰でも】図書館内を見ることができるようになりました！ Library Map[®]はクリック等で、その場所の写真や説明を見ることができます。他にも通常時の図書館について知ることもできます。*状況に合わせ更新予定

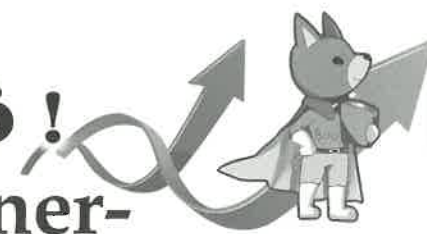


Click! or Tap!

Library MAP II
in University of Kitakyushu



語学力をアップしよう! -Language Study Corner-



Language Study Cornerとは?

本館1階にある語学学習に関する資料を集めたコーナーです。約3000冊の冊子体のほか電子書籍で閲覧できるものもあります!

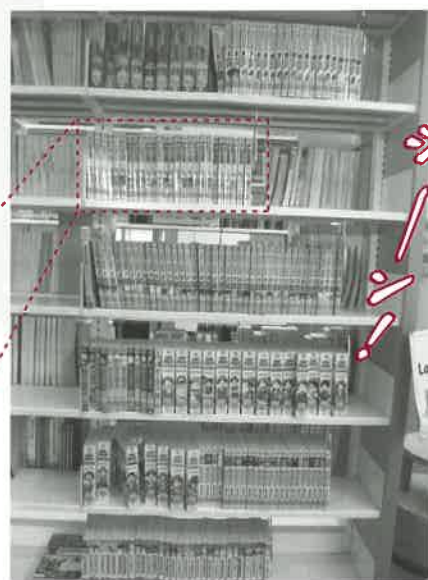


英文多読コーナー

英語多読は「自分のレベルにあった本を楽しみながら沢山読む」という活動です。

日本語の読書のようにストーリーを楽しみながら英語の読書を始めましょう!

実はこんな資料も...



漫画の英語版を所蔵しています。有名なものばかりなので名シーンの英語表現を探すだけでも楽しいですよ!

誰かが必ず借りている人気コーナーです。



電子書籍《学外利用は学内者限定サービス》

「Maruzen eBook Library」「ProQuest Ebook central」が利用できます。どちらも「リクエスト」ボタンより購入依頼が可能です。詳細は図書館ホームページでご確認ください。

※(購入依頼は常勤教員、学部生、大学院生のみ)

北九大図書館
HP: 電子書籍



TOEIC

TOEICの参考書が約150冊あります。一部の図書にある付録の視聴覚資料は貸出できませんが図書館内で視聴できます。

必要な方はカウンターにご相談ください。

※イヤホン・ヘッドホンの貸出は行っておりません。有線のものをご自身でお持ちください。

TOEFLやIELTS

留学を考えている人には欠かせないTOEFLやIELTSの参考書もあります。

もちろん他言語も! Chinese

英語だけでなく中国語・韓国語・ロシア語・タイ語などもあります。

留学生向けの日本語の本もこの場所にありますよ。



Others

NEW 新たな本との出会い —おすすめの新書・文庫—

新書・文庫をもっと活用してもらいたい!

そんな想いから教員や職員、サポーターのおすすめを紹介するコーナーが出来ました。

通常配架のほかシークレット・ブックとして何が入っているかわからないものもあります。

普段手に取らないような本との出会いをぜひ北九大図書館でしてみませんか?

場所: 北九大図書館 本館2階 特別図書コーナー



先生が最近読んだ本をご紹介します!

第13回目は.....

中井 遠先生 (法学部) の最近の1冊

『あのこは貴族』

山内 マリコ著 (集英社文庫/2018年)

私の研究とは関係ないのですが、最近読んだ小説の中で抜群に面白かった一作です。

東京都内の豊かな家庭出身の女性と、地方部出身で上京した女性が、一人の男性をめぐる(友人も巻き込んで)あれやこれや、という話です。屋ドラみたい?いいえ、そんなことはありません。登場人物に象徴されるのは、階級・都市地方・文化資本といった、私たちの社会にある様々な分断の縮図です。一見恋愛小説のように見せて、高度に社会科学的なテーマをも私たちに考えさせ、しかも作者の小気味よい筆致で味わわせる一作です。



私自身、勤め先や自身の体験としてどちらの世界も垣間見たことがあり、両者の分断に想いを馳せることはしばしばです。もちろんどちらが上という事ではありません。本作で示されるのも、どの世界にもそれぞれの地獄があり、それぞれの「ムラ」で窒息するか踏み出せるかは自分次第...という事のように思います。読んでいて辛い気持ちになることは少なく、読了後は前向きに朗らかな気持ちにさせる良作です。映画化もされておりますが小説の方がおすすめです。

わたしの好きもお裾分け

このコーナーでは図書館内の小さな好きをお裾分けするコーナーです。第2回目の紹介者は勤続12年目の図書館職員の方です。長く務めているからこそ知っている北九大図書館の好きなところをきいてみました。

好きなコーナー... 「本館2F 特別図書コーナー」

特別図書は「教員推薦図書」や「〇〇学がわかるコーナー」などいろいろなコーナーを集めた場所です。

長年勤務しているので、いろんなコーナーの立ち上げに関わってきて、思い入れがあります。多くの先生方からご協力いただいて成り立っているコーナーも多く、感謝しています。サポーターが書いてくれるポップ、図書館職員の展示など、いろんな人が関わっているコーナーで、本が借りられていると嬉しくなります。

【紹介者: 中村純さん】



よむけんの仲間たち

(図書館サポーターのページ)

だより班に 新メンバーが加入しました!!

今年度、図書館サポーターに新たなメンバーが仲間入りしました!

今回はだより班の新メンバーに意気込みを伺いました。



文学部1年 今村
サポーターとして図書館に興味がわくような活動をしていきます!



文学部1年 真武
図書館で本を読むのが楽しくなるようなおたよりを書きたいです。



文学部3年 六信
皆さんに本の良さを伝えられるように良い文章を書いていきます。

今年は何の年?

宮崎 駿監督 生誕80周年



天空の城ラピュタ (1986)

宮崎駿監督は、1941年1月5日東京に生まれ、今年で80歳をむかえました。高畑勲監督らと共にスタジオジブリを設立し、長年にわたり数々のアニメーション作品を世に生み出しており、それらの作品は世代を超えて楽しまれています。宮崎監督はアニメーションについて、著書である『出発点 1979～1996』で以下のように語っています。「アニメの世界は“虚構”の世界だが、その中心にあるのは“リアリズム”であらねばならないと私は思っている。ウソの世界であっても、いかにもんとうの世界とするかが大切だろう。言葉をかえるなら、みる人に「そういう世界もあるな」と思ってもらえるウソだ。」(宮崎駿『出発点 1979～1996』徳間書店 2002, p47)

確かに、宮崎監督がつくるアニメーションの世界は、本当はどこかに存在しているのではないかという気持ちにさせられます。現実離れさせない工夫はどこにあるのか、そうした点も探しながら作品を見るとまた違った作品の良さに出会えるかもしれません。また、北九大図書館にはジブリ映画の原作や原書も所蔵しています。秋の夜長にアニメーション作品と併せて楽しんでみてはいかがでしょうか。(文3年 村田)

引用・参考文献：宮崎駿『出発点1979～1996』徳間書店 2002 / 『世界映画大事典』岩本 憲児ほか(監修) 日本図書センター 2008
※画像はスタジオジブリ公式サイトで提供されている場面写真を使用しています

編集後記

閉館そして予約制の貸出対応等、情勢に合わせて対応していた昨年に比べ、今年は一部利用制限があるものの図書館をご利用いただける状態が続いています。マスク着用や手指消毒等へのご協力ありがとうございます。

館内での飲食についてお願いがあります。飲み物は水筒やペットボトル等の密閉容器を持ち込み飲むことができますが、食事(お菓子を含む)は禁止です。共有財産・心地良い空間を保つためにも、館内ルールの遵守に何卒、ご協力をお願いします。(図書館員 國分)

北九州市立大学図書館

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1
TEL: 093-964-4403 FAX: 093-964-4437
e-mail: lib-2@kitakyu-u.ac.jp

■開館時間■

月～土曜日: 午前8時55分～午後9時30分
日・祝日: 午前10時～午後6時
休館日等は館内やHPの開館カレンダーでご確認ください。
URL: <http://www.kitakyu-u.ac.jp/lib/>

北九州市立大学図書館
図書館だより No.204

■発行日■

2021年10月

■発行者■

北九州市立大学
情報化推進課



〇〇すると〇〇な本

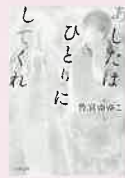
本を読み終わった後、改めて表紙を見るとそこに隠された意味を発見したり、タイトルが指す意味はこのことだったのかと驚いたり充実した読後感を得た経験はありませんか?

今回はそんな「〇〇すると〇〇な本」をだより班メンバーが紹介します。

最後まで読むとタイトルの印象が変わる本



『あしたはひとりにしてくれ』 竹宮ゆゆこ 著
(文春文庫/図書館所蔵有 請求記号: 913.6/Ta63)



家族(+居候)と何不自由ない生活を送っている優等生、瑛人。しかし瑛人はこの穏やかな日常がいつか壊れるのではと、いつも漠然とした不安を抱えている。そんな彼が拾ったのは、瀕死状態の女性で……。怒涛の展開と読了後の爽快感が癖になる一冊です。

(文4年 松田)

結末が分かると胸を突かれる本



『僕はロボットごしの君に恋をする』 山田悠介 著
(河出書房新社/図書館所蔵有 請求記号: 913.6/Y19)



舞台は2060年の東京。3度目のオリンピック開催が迫る中、健は人型ロボットを使った国家的極秘プロジェクトに参加していた。幼なじみで同僚の陽一郎や彼の妹の咲に助けられながら日々奮闘していた矢先、咲の勤務先にテロ予告が届く。健は想いを寄せる咲を守ろうとするが…衝撃の結末に胸をふるわせる一冊です。(文4年 永山)

北九大図書館所蔵
スタジオジブリ作品の原作・原著

- ☆火垂るの墓
『アメリカひじき: 火垂るの墓. 改版』
(請求記号: 913.6/N97)
- ★海がきこえる
『海がきこえる』
(請求記号: 913.6/H59)
- ☆ハウルの動く城
『魔法使いハウルと火の悪魔』
(請求記号: 933.7/J72/1-1)
- ★ゲド戦記
『ゲド戦記. ソフトカバー版』
(請求記号: 933/L46/1-1~1-5)
- ☆思い出のマーニー
『When Marnie was there』
(請求記号: 837.7/Ko19/203)

編集後記

閉館そして予約制の貸出対応等、情勢に合わせて対応していた昨年に比べ、今年は一部利用制限があるものの図書館をご利用いただける状態が続いています。マスク着用や手指消毒等へのご協力ありがとうございます。

館内での飲食についてお願いがあります。飲み物は水筒やペットボトル等の密閉容器を持ち込み飲むことができますが、食事(お菓子を含む)は禁止です。共有財産・心地良い空間を保つためにも、館内ルールの遵守に何卒、ご協力をお願いします。(図書館員 國分)

北九州市立大学図書館

〒802-8577 北九州市小倉南区北方 4-2-1
TEL: 093-964-4403 FAX: 093-964-4437
e-mail: lib-2@kitakyu-u.ac.jp

■開館時間■

月～土曜日: 午前8時55分～午後9時30分
日・祝日: 午前10時～午後6時
休館日等は館内やHPの開館カレンダーでご確認ください。
URL: <http://www.kitakyu-u.ac.jp/lib/>

北九州市立大学図書館
図書館だより No.204

■発行日■

2021年10月

■発行者■

北九州市立大学
情報化推進課